熊本県立荒尾支援学校進路便り（NO.42）

わーく&らいふ

令和元年１２月２０日　　進路指導部　発行

■CONTENTS■

★シリーズ 職員進路研修　職場ルポ（E班）

職員進路研修　職場ルポ
～卒業後の姿・社会のモノサシに触れる実践～

E班

①地域福祉交流館　Finding R（玉名市）
②就労支援センターほし（玉名市）就労継続支援（B型）

【地域福祉交流館　Finding R】

　値域福祉交流館Finding Rは、「たまきな荘」が企画し今年の４月にオープンした交流館です。ここでは、障がいのみならず、多様な困難さをもつ人たちのための活動・交流の場が提供できるよう、次の５つの事業所が併設されています。

「玄関前にある交流スペース」

①重度心身障がい児を対象とした放課後等デイサービス「すまいるきっずR（新設）」
②相談支援センター「いこいば（移設）」
③重度障がい者の新しい働き方に挑戦する「風工房R（新設）」
④不登校の子どものための、家でも学校でもない第3の居場所「でぃんぐる（新設）」
⑤NPOの設立支援や情報提供の窓口「たまきなNPO支援センター（新設）」

　風工房Rでは、１階で菓子の製造、2階で軽作業（コーヒー豆のハンドピック・袋詰め・スタンプ押し等）をされていました。また、製造したものを館内の売店「たまこひ」で販売もされていました。風工房の本校での菓子販売は大人気です。

　重度心身障がい者の「働きたい」ニーズに応える取り組みを今後すすめる計画を伺いました。Finding Rの今後に注目していきたいと思います。

★Finding Rの管理者に聞きました。
「学校時代に育てておくべき力は　何ですか？」

時間への意識や異性との距離の保ち方です。

【就労支援センターほし】

「なすを育てているビニールハウス」

　ほしは、玉名市岱明町にある就労継続支援B型事業所です。

　農園芸作業や内職作業を主な作業内容としています。

　農園芸作業では、スナップエンドウ豆を中心に、なすやねぎ等の旬の野菜の栽培をされています。また、栽培した野菜を地域の販売所へ販売もされているそうです。

　内職作業では、外部から委託を受けた作業に取り組んでおられ、訪問時には、自治体指定ゴミ袋の袋詰め作業を行っていました。

　作業を通して、「社会的マナーの構築」「コミュニケーション能力の向上」ができるように支援をしているそうです。荒尾支援学校の卒業生が一生懸命働く様子を見ることができました。

★ほしの管理者に聞きました。
「学校時代に育てておくべき力は　何ですか？」

挨拶ができることです。外部に販売に行くこともあるので、外部の方にもしっかり挨拶ができるよう、促したり、声かけをしたりしています。

編集後記

今回の研修で、障がいの有無や程度に関わらず、誰もが働ける環境づくりの重要性を知ることができました。

　また、働くうえで必要な力や、今育てておくべき力は何なのか、就労までに学校や家庭で取り組むべき内容を知る良い機会となりました。

（重複障がい学級　島本）